

農林水産省「新しい農村政策の在り方検討会」

農村発イノベーションの実像

What's Rural Innovation?



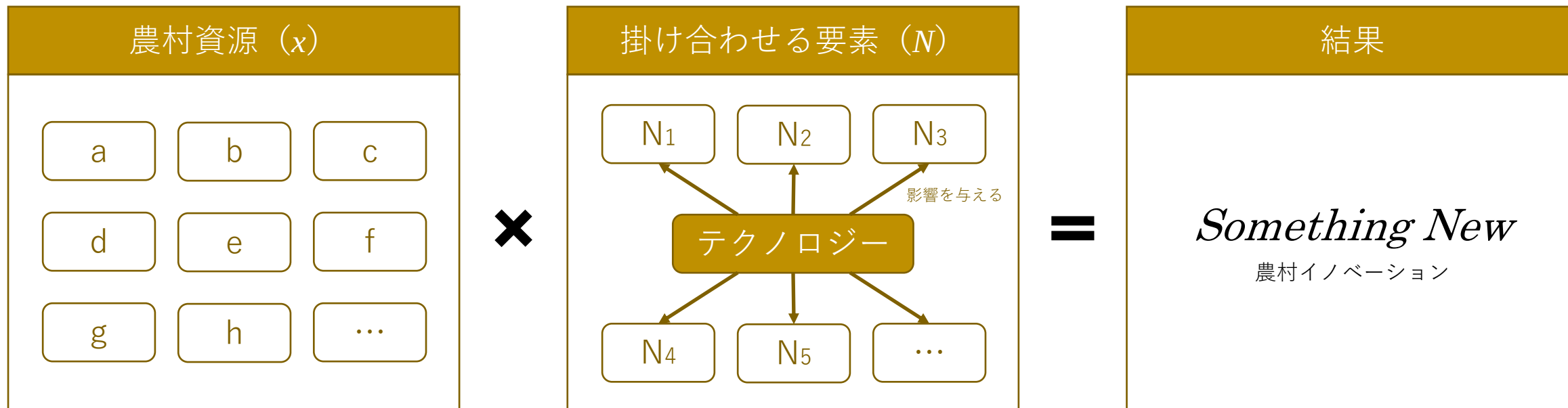
農林水産省「新しい農村政策の在り方検討会」
第 6 回検討会（2020年11月24日）討議資料

谷中 修吾 [SHUGO YANAKA]

BBT大学 経営学部グローバル経営学科 学科長・教授／BBT大学大学院MBA 教授
地方創生イノベータープラットフォーム「INSPIRE」代表理事

ソーシャルビジネスプロデューサー。静岡県湖西市出身。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻卒。3歳からマリンバ演奏で舞台経験を重ね、クリエイターとして様々な創作表現活動に従事する。外資・戦略コンサルティングファーム Booz Allen Hamilton にて、政府機関・民間企業の戦略立案・実行支援を経て現職。国内最大級の地方創生イノベータープラットフォーム「INSPIRE」を立ち上げ、超絶まちづくりの集合知を社会にシェアする取組を展開。内閣府「地方創生カレッジ」講師として受講満足度No.1を獲得。地方創生分野において、中央省庁や地方自治体の有識者を務める。2020年度より、OECD（経済協力開発機構）農村イノベーション専門家会議エキスパート委員。慶應義塾大学SFC研究所「地域デザイン・ラボ」総合プロデューサー。世界30ヶ国を遍歴し、国内外の地域創生に専門知見を持つ。著書『最強の縄文型ビジネス』（日本経済新聞出版社）で1万人のビジネスリーダーが選ぶ「TOPPOINT大賞」ベストビジネス書を受賞。

農村イノベーションの本質は「農村資源×○○」であり、 掛け合わせる要素はテクノロジーの進化の影響を受ける



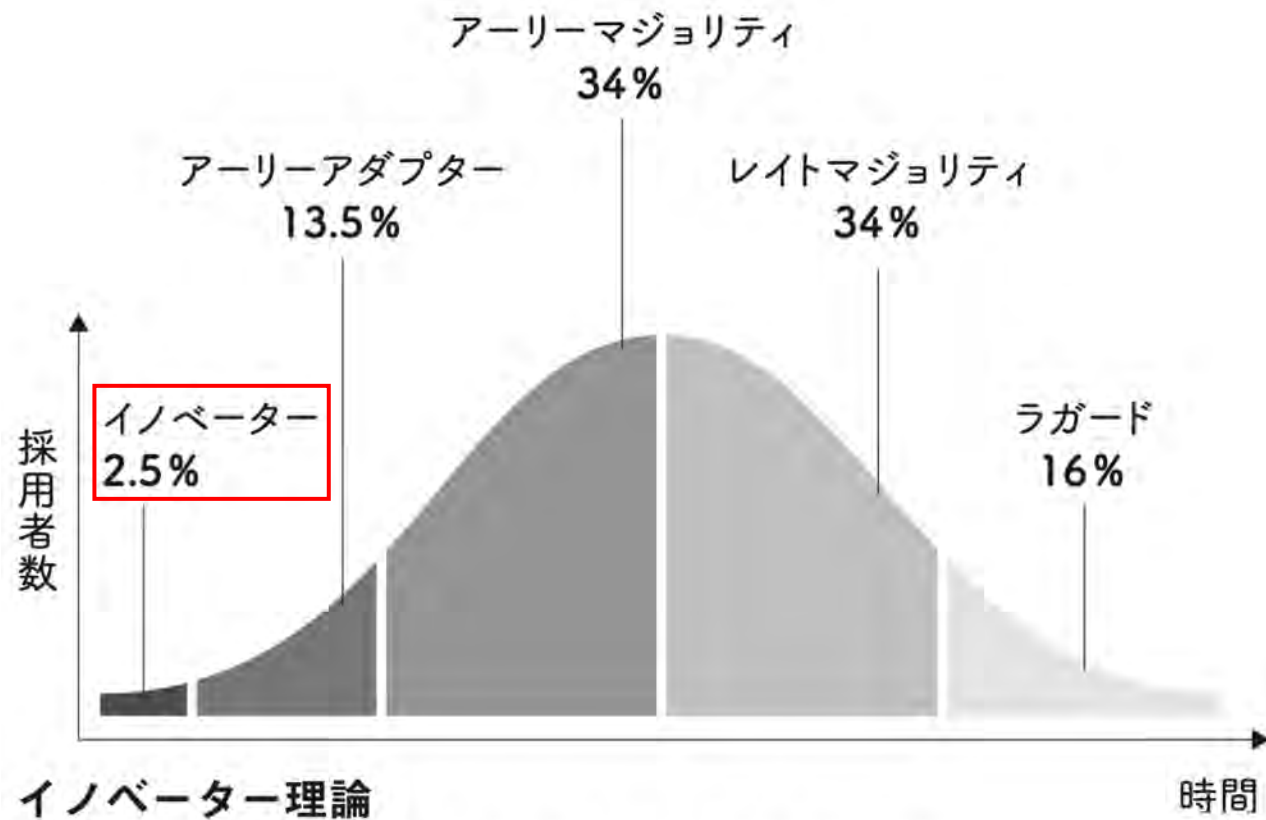
農村イノベーション関数

$$N_{(x)} = \text{Something New}$$

ポイント

- 常にテクノロジーは変化し、社会の様々な要素に影響を与えるため、農村資源に掛け合わせる要素も変化する
- つまり、農村イノベーション関数は無限にある

農村イノベーションは、農村に0から1の価値を生み出すイノベーターと同じ目線でなければ理解できない



出所：Everett M.Rogers『イノベーション普及学』に基づいて作成

- 「新しい商品・サービス、ライフスタイルや考え方」などが世の中に浸透する過程を5つのグループに分類したマーケティング理論
- 横軸は市場の成長に伴う時間的経過、縦軸はその製品やサービスを採用するユーザーの数を表す
- あくまで事業主から顧客を見る際の理論であるものの、事業創造においても0から1を生み出すイノベーターの割合を想起する参考となる
- 事業創造におけるイノベーターは、世の中に受け入れられるかは別として、新しい価値を生み出す
- 事業創造におけるアーリーアダプターは、イノベーターが生み出した価値を吟味し、世の中に受け入れられるように調整して事業を展開する
- 農村イノベーションを考える際には、事業創造におけるイノベーターの目線を持ち合わせる必要がある（政策立案側がイノベーター目線から乖離しているケースが多い）

農村イノベーションを生み出している人材が集うプラットフォームでは、イノベーターの集合知が形成されている



農村イノベーションのシー
ドを見抜くには、ビジネス
の立ち上げを量産した実務
経験が極めて重要



国内最大級の地方創生イノベータープラットフォーム

「INSPIRE（インスパイア）」 by 一般社団法人INSPIRE（非営利型法人）

日本全国の地方創生まちづくりで活躍するイノベーターを束ね、彼らが実践する超絶まちづくり©の集合知を社会にシェアすることをミッションとして、カンファレンス、セミナー、アイデアソン、アクセラレータなどを主催・共催・総監修協力している。2020年11月現在、1万人を超えるイノベーターコミュニティを有する。

地方創生まちづくりで活躍するイノベーターは、価値創造型のビジネスデザイン技法で事業を立ち上げている

問題解決型（コンサルタント型）

社会的課題の把握



課題解決の方向性の策定



事業テーマの設定



マーケティング



ビジネスモデルの設計

価値創造型（イノベーター型）

突き抜けたアイデア



社会的課題の紐付け（後付け）



事業テーマの設定



マーケティング



ビジネスモデルの設計

突き抜けたアイデアで新しい農村をつくるイノベーターは 実在している



竹トラッカー（竹虎）



筋肉かき氷（PEAK SMILE）



チャンバラ合戦-戦IKUSA-（IKUSA）



キャベチュー（日本愛妻家協会）



竹あかり（CHIKAKEN）

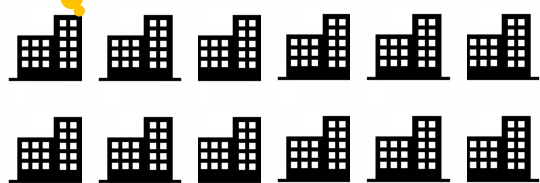


南魚沼グルメマラソン

農村でイノベーターを発掘してアクセラレートするプラットフォームづくりが、農村イノベーションを加速する

中央省庁の認知が
イノベーターの活
動を加速する

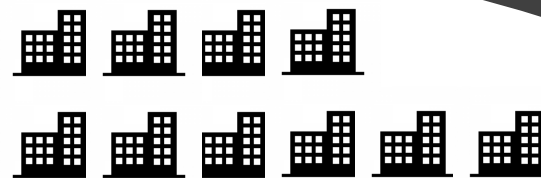
イノベーターコミュニティ



中央省庁、全国区の著名企業・団体



超絶まちづくりの
ビジネスデザイン技法



地域の大手企業、団体、行政

アクセラレータプログラム
(事業成長支援プログラム)



地域のイノベーターおよびイノベーター予備軍
(個人事業主、スタートアップ、企業・団体など)

イノベーターが欲
しいのは、オフィ
シャルな認知

Local Innovator Platform

農林水産省との連携によるイノベータープラットフォーム づくりを展開している



静岡経済同友会×INSPIRE 静岡創生アクセラレータ「テイクオフ静岡」

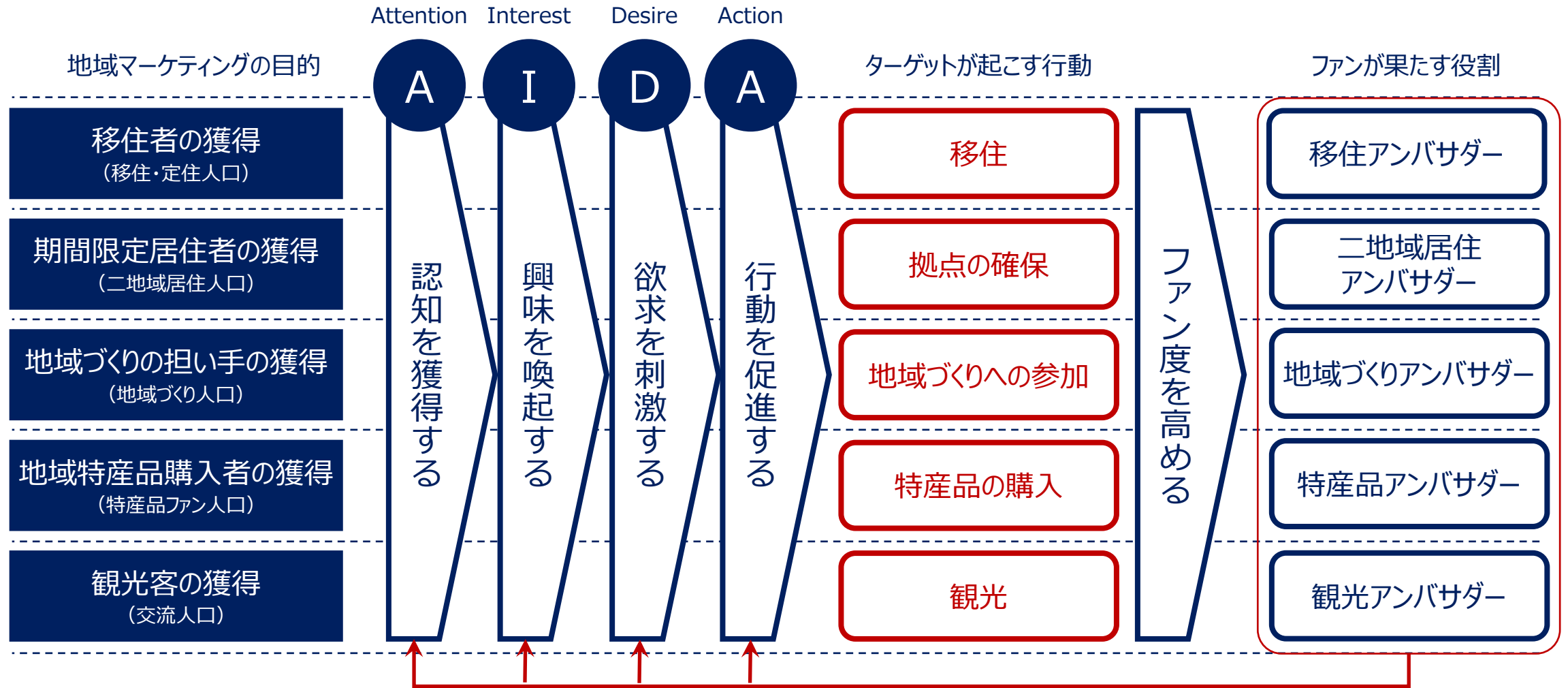
農林水産省は協力パートナーで参画。静岡県中部をフィールドとして地域活性化事業を展開したい法人を募り、経済同友会の経営者およびINSPIREがメンタリングする。



農林水産省×INSPIRE 農山漁村アイデアソン「農村インポッシブル」

「突き抜けたアイデアで、新しい農村をつくる」をコンセプトとして、価値創造型のアプローチで取り組むアイデアソン。2019年度よりスタートし、現在、2期目。

農村イノベーションの認知を社会に広げる上で、デジタルマーケティング技法は強力な武器となる



地方創生の領域におけるデジタルマーケティングの知見は 体系化されておらず、2020年夏に慶大でラボを創設した



自らの分身となるアバターロボットがインフラ化し、農村における「アバター人口」がインパクトを持つ時代へ



アバターロボットの活用事例



【都市→農村】東京の子どもたちがアバターで美ら海水族館へ



【農村→都市】農村在住の人が東京の蔦屋家電で本を買う

(参考) アバターロボットによる教育イノベーション



コロナ禍の緊急事態宣言下において、世界初の「アバター卒業式」を自ら実現。学生は自宅からアバターロボットで卒業証書を受け取る。



リアル参加の「生身の学生」とアバター参加の「分身の学生」がディスカッションを行う「アバター授業」を導入した。

日本で生まれている価値創造型の農村イノベーションは、OECDの国際会議においても注目されている

